

—まち・ひと・しごと創生— たまの長期人口ビジョン たまの創生総合戦略 概要版（案）

「たまの長期人口ビジョン」「たまの総合戦略」は、本市の人口減少に置かれる状況を踏まえ、目標とする将来のまちの姿を描き、地域特性を活かすことで、人口の維持と地域活力の向上に向けて必要となる戦略的な目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

現状と課題 玉野市の人口動態や市民のみなさんのご意見をみると、玉野市の克服すべき課題や、より積極的に取り組むべきことがみえてきました。

社会減に加え自然減の拡大により、人口減少が拡大

- 人口は一貫して減少しており、年間 300 人を超える社会減と出生数の減少と死亡数の増加による年間 400 人を超える自然減が要因
- 社会減は 20 代から 30 代の転出超過が要因であり、地域では岡山市への転出超過が主因
- 自然減の拡大は、高齢化の進展した現在の人口構造から、今後十数年は継続が見込まれる
- ★市民の定住意向は比較的高く、高校生でも地元定住や U ターンを希望する人は多いため、働く場所や暮らしやすい環境整備が喫緊の課題

岡山県内でも低い出生率

- 出生率は、岡山県平均を大きく下回り、全国水準と同水準
- 出生率の低さは男女ともに結婚していない人が多いことや若い女性の市外への転出が要因
- ★市民の希望する子どもの数は 1.91 人と高く、その希望を叶えられる結婚、出産、子育て環境の整備が急務

全国水準以上に減少する従業者数

- 市内の従業者数が全国水準以上に減少しており、特に、小売業、建設業、運輸業・郵便業、医療業、飲食店、娯楽業の落ち込みが大きい
- 市内での非正規雇用の拡大が進んでいる
- ★魅力的な職場の不足や不安定な雇用形態は、結婚や出産にも影響が大きく対策が必要

市外に通勤する人の拡大

- 市内産業の低迷もあり、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、医療・福祉などで市外通勤率が上昇
- ★市外への通勤の拡大は、市内消費の漏出や職場結婚等を通じて、若年層、特に女性の転出に繋がる可能性もあり、市内の人口構造や産業活力の悪化を招く恐れ

市内企業における子育て支援への取り組みの低迷

- 企業における子育て支援への取り組みは、あまり積極的でなく、支援制度の利用も低迷
- ★取り組みに対する優遇税制や子育て支援に関する情報提供を希望する企業が多い

戦略の基本目標 現状と課題を踏まえ、本市が目指すべき基本理念と4つの戦略の基本目標を掲げ、取り組みを進めていきます。

基本理念

温暖で自然環境に恵まれ災害の少ない地域特性、力強い製造業の立地や宇野港などを拠点とした瀬戸内海の島々への玄関口としての役割など、現在の地域の魅力を活かすとともに、不足している都市機能や生活利便性を充実させることで、本市における地方創生の実現に向けて取り組んでいく

戦略の基本目標

- 1 本市における安定した雇用を創出する【雇用創出】
- 2 本市への新しいひとの流れをつくる【移住・定住】
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える【結婚・出産・子育て】
- 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する【まちづくり・地域間連携】

人口の将来展望

長期的な市の活力維持や安定的な行政運営の観点から、上記基本理念、基本目標の実現により、人口の一定規模での安定化及び人口構造（年齢構成）の健全化を目指し、市民のみなさんの意向を反映した将来人口を以下の通り設定します。

将来目標推計（玉野市推計）は、総合戦略の各種施策の実施により、市民の出生（希望出生率：1.91）や定住意向を実現することで、2040年時点で約5万人、2060年時点で約4万3千人とする。

なお、超長期で見ると、2080年以降、総人口は約4万人で横ばいに推移し、人口構造もある程度安定化することを見込みます



—まち・ひと・しごと創生— たまの創生総合戦略の施策概要（案）

本戦略の基本理念、4つの基本目標を実現するため、下記の施策を実施し、本市の人口維持や地域活力の向上を図ります。また、これらの基本目標、施策ごとに数値目標及びKPI（重要業績評価指標）を設定し、進捗状況を把握します。なお、数値目標やKPIを用いて、総合戦略の着実な実施、施策・事業の効果を検証した上で、必要な改訂が行えるよう、PDCAサイクルの確立を図ります。

